

3つの都立公園を 結ぶ遊歩道の整備を

関根優司(日本共産党)

①武蔵小金井駅南口の商店街にお地蔵さんが2つでき、小金井市をウォーキングの街にしよという市民のご奮闘がある。小平でも小平グリーンロード推進協議会があり、遊歩道と市民の運動が結びつき多様な活動をされている。小金井市でも、小金井公園・



玉川上水、蒼浪泉園、野川、武蔵野公園、野川公園などを結ぶ遊歩道を整備して、市民や来訪者がウォーキングできようという街にせよ。

市長 北と南の公園を結び、必要性は感じている。大通り・街道だけでなく、中の方も歩けるように整備する必要がある。地域の方々が自発的に

に花など植えてもらって人が歩くようになるといいと思う。

②TDM東京行動プランなどを参考に、公共交通・バス・自家用車・自転車などの交通行政全体を視野に入れた総合的な交通政策をもて。

総務部長 中央線の高架化、それから駅前開発、これらの総合的な中で一定の判断なり方針を立てて行く。

その他に、「中学校3年までの乳幼児医療費の無料化」について質問しました。

いじめ等を根絶する ための心の教育を問う

伊藤隆文(自由民主)

学校でのいじめを根絶する責任は大人にある。子供の心のありようは周りの大人に影響を受ける。その大人は経済至上主義で良心を見失っているのではないか。(ア)いじめ根絶の市長の考えは。(イ)教育行政で小中学校の設置、運営の責任は。いじめの把握と教



育委員会の対策は。(ウ)指導力不足の教員と団塊世代教員の大量退職問題対策は。学校や教師のいじめ対策は。(エ)社会のルール等規範意識を高める授業と小中学生から将来の進路を考える指導は。(オ)児童生徒表彰条例の制定は。

市長 (ア)心の豊かさを育む教育の家庭等との連携が必要。教育部長 (イ)市が設置。管理運営は市教育委員会。いじめ緊急調査で小学校24、中学校32件中37件は解決。19件見守中。教委で未然に防止。(ウ)様々な研修で指導力を向上。いじめは人間として許されない

本町五丁目所在の東京都 教職員住宅について

中根三枝(自由民主)

(ア)2棟あるうち北西棟1階のベランダ側にベニヤ板が打ち付けられ空家になっているが今後の計画は。(イ)教職員住宅と上之原公園の間に幅130cm長さ22m程の空地がある。所有者は誰か。(ウ)その不法投棄物の片付けは誰がすべきか。

教育部長 (ア)東京都教育委員会福利住宅の今後の在り方についての概要によれば、当該住宅は昭和54年度建築で、北西側建物は平成20年度、南側建物は平成21年度に大規模改修する予定になっている。

管財課長 (イ)この土地は公図上で見ると東京都が所有するものと思われるが、昔から現況と公図が不一致の土地と



なっているところで、現在所有が不明確になっている。今後市と都で境界確定が必要で、関係機関と調整し協議していくことになる。柵などの設置については議員からもご指摘いただき早急に対応したい。

本町五丁目の教職員住宅

市民の健康づくりを 旺盛に

水上洋志(日本共産党)

①医療制度改革法の成立は、10月から現役並み所得とされた高齢者の窓口負担を3割に引き上げるなど、市民に大きな影響を与えている。(ア)特に今後基本健診が、自治体から国保に実施主体が変わり、老人健診が対象外となり実施が自治体の裁量に任せられかねな



いことや、健診項目が変更され現在より後退する可能性があるのではないか。(イ)市民全体を視野に入れた健康づくりを支援センター等の推進体制もとって旺盛に行うべき。

福祉保健部長 (ア)75歳以上の高齢者の健診事業は後期高齢者広域連合で今後検討される。糖尿病等生活習慣病に着目した健診・保健指導が保険者に義務づけられる。(イ)平成19年度に作成する実施計画の一定の検討課題としたい。



北大通りを無電柱化へ

無電柱化を新技術の 地中化方式で推進

篠原ひろし(改革連合)

①無電柱化は今後の都市計画の中軸に据えられて良い施策である。市内は歩道・道路が狭い場所が多い。現在次世代型電線共同溝方式や地域・道路状況に合わせた柔軟な整備手法が開発されている。(ア)新方式を活用し、車・歩行者の多い場所から地中化。(イ)北



大通り等狭い歩道に電柱があるのは無策である。(ウ)実施地域等を視察して来たら良い。都市建設部長 (ア)(イ)ウ)ロードで出来る新方式を、検討中の場所も含め今後精力的に取り組んで行く。

②東京国際スリーデーマーチに一層力を注ごう。今年から小金井公園で行わ



武蔵小金井駅南口商店街にできた「しあわせ地蔵」

焼やすごみの減量を

遠藤百合子(自由民主)

①「ごみ非常事態宣言」を受け、燃やすごみの減量が最重要課題になっている。(ア)燃やすごみの約56%を占める生ごみの処理を、バケツ型と電動型の両面で、酵素を使用し、毎日投入しても水と二酸化炭素に分解消滅する方法でアピールしては。(イ)生ごみを排出



する大型事業者に自己処理の呼びかけを。市長 (ア)簡単に家庭でもできるようであれば、考えていく必要がある。

環境部長 (イ)どの大型事業者が生ごみを排出しているか現在把握していないが、今後は自己処理をお願いしていく事が必要だと考えている。

②子どもを含めた地域安全のために。(ア)安心安全メール配信システム導入の見直しは。(イ)第四小学校の通学路で登校時に私もパトロールを継続しておりますが、通学路監視員と表記してあるジャケッットやベストを着てもらえないか。

検討する。